

# 令和2年度 浦添市 ICTエバンジェリスト実践事例集



浦添市立教育研究所

## R2 ICT 活用実践事例

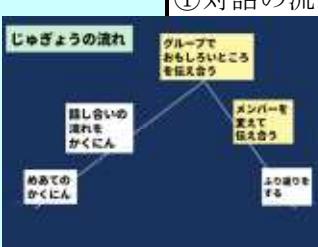
沖縄県浦添市

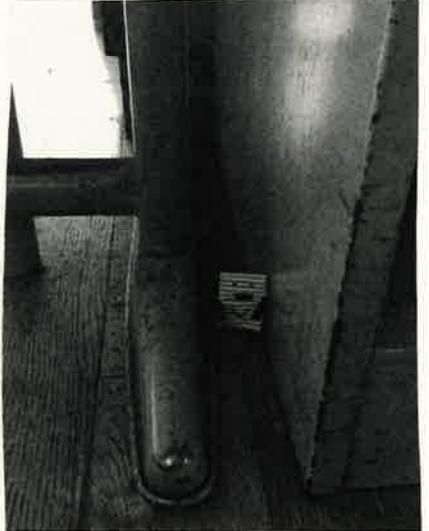
学校名	浦添小学校	授業者	兼城 武
対象学年	5年	教科等	算数
単元名	「面積」 年間指導計画5学年10月計画 啓林館教 p 128~149		
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 实物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
本時のめあて	長方形や、三角形の面積の公式を使って、平行四辺形の面積の求め方を考えよう。		
ICT機器の活用場面	①タブレット端末を使って、平行四辺形の面積の求め方を共有し合うことで、自分の考えを発表することが苦手な児童でも自分の考えを表出しやすくする。 ②導入でロイロノートを使って前時の三角形の面積の求め方を振り返ることによって、長方形に等積変形する考え方や三角形分割の考えにつなげやすくする。		
指導の流れ	<p>めあて 長方形や、三角形の面積の公式を使って、平行四辺形の面積の求め方を考えよう。</p> <p>2. 自力解決</p> <p>① 平行四辺形の面積の求め方を考える。</p> <p>3. 比較検討</p> <p>(1) ロイロノートで友だちの考え方を確認し、自分が良いと思った考え方をノートに書く。</p> <p>(2)隣同士で意見を交換する。</p> <p>(3) 全体で意見を共有する。</p> <p>4. まとめ</p> <p>5. 振り返り</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【意欲満足】</p> <p>面積の求められる图形に帰着させて、平行四辺形の面積の求め方を考へたり説明したりしている。(発言・タブレット・ノート)</p> <p>(努力を要する)タブレット、ノートどちらにも自分の考えを書くことができない。</p> <p>★三角形に分けて計算する。</p> <p><math>6 \times 4 \div 2 = 12</math>  <math>12 \times 2 = 24</math>  <math>24 \text{cm}^2</math></p> <p>★長方形の形にして計算する。</p> <p><math>4 \times 6 = 24</math>  <math>24 \text{cm}^2</math></p> <p>【努力を要する児童生徒への支援】</p> <p>できた児童のタブレット画面を送信し、平行四辺形の面積の求め方でわかったことをノートに記述させる。</p>		
指導上の留意点	• クラウド版のロイロノートを使うことで、面積の求め方についての考えを共有することができるが、操作に慣れていないと時間内に活動を終えることが難しいため、事前の指導に時間を確保することが必要である。		

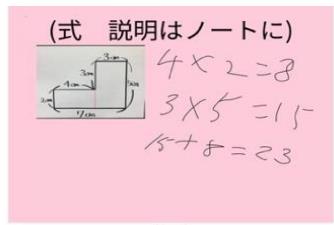
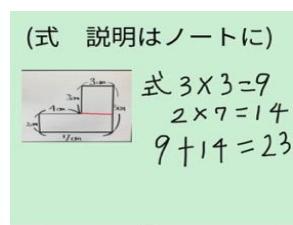
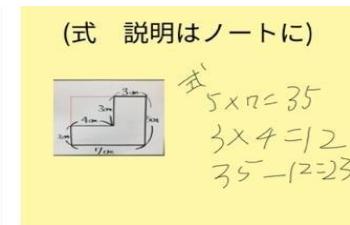
学校名	仲西小学校	指導者	伊禮 義明			
対象学年	第5学年	教科等	体育			
単元名	大きく跳んでピタッと止めよう！（跳び箱運動）					
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad ( ) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 实物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ ( ) <input checked="" type="checkbox"/> その他（プロジェクター）					
本時のめあて	きれいに跳ぶための5つのポイントに気を付けて、台上前転をしよう。					
ICT機器の活用場面	○キラリタイムの場面で、技の出来映えを確認し合うために、映像を撮影する。 ○映像を見ながら、5つのポイントが動きに表れているかみんなで話し合い確認する。					
指導の流れ	<p><u>1.はじめのあいさつ</u></p> <p><u>2.準備体操／感覚づくり運動</u></p> <p>5つのPointを感じ的につかむための 6つの場を設定し、デジタイマーで時間を 管理し1分間で移動しながら行う。</p> <p><u>3.めあての確認</u></p> <p>きれいに跳ぶための5つのポイント に気を付けて、台上前転をしよう。</p> <p><u>4.めあて1</u> 「基本のわざに取り組もう」 ・開脚跳び／かかえ込み跳びに 挑戦する。</p> <p><u>5.キラリタイム</u> ・5つのPointを意識して見合い 教え合う。（iPadを活用する。） ・技のポイントを全員で確認する。</p> <p><u>6.めあて2</u> 「進んだ技に取り組もう」 ・台上前転に挑戦する。</p> <p><u>7.ふりかえり</u></p> <p><u>8.終わりのあいさつ</u></p>			<p>☆きれいに跳ぶ5つのPoint【視点】</p> <p>1 助走の距離を調整する 2 踏み切り（パンッと強く） 3 着手（両手着手） 4 空中姿勢（ふわっと） 5 着地（ピタッと）</p>   <p>めあての確認</p>   <p>めあて1・2</p> <p>iPadで教え合い</p> <p>ふりかえり</p>		
指導上の留意点	○活動の場面では運動量の確保に努め、ICT機器は跳び方のイメージづくりや視点の改善箇所を明確にできるように活用する。 ○ICT機器の活用を通して、対話が生まれ互いの活動を活性化させる。全体で確認したり、グループでの話し合いで活用する。					

## R2 ICT活用実践事例

沖縄県浦添市

学校名	浦添市立神森小学校	授業者	大山 和生
対象学年	第3学年	教科等	国語科
単元名	「三年とうげ」～組み立てをとらえて、民話をしようかいしよう～		
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad ( ) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 实物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
本時のめあて	三年とうげのおもしろいところを伝えよう		
ICT機器の活用場面	おもしろいと思ったこと・場面をグループを通して交流する。		
指導の流れ	<p><b>【導入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時までの確認。(タブレットを使って、自分の感じたことをまとめた)</li> <li>めあての確認。</li> <p><b>【展開】</b></p> <p>①対話の流れの確認。(シンキングツールを用いて)</p>  <p>② → </p> <p>③ → </p> <p>② グループで対話活動を行い、感想を伝え合う。</p> <p>③ グループ外の友達とおもしろいと感じたことを伝え合う。</p> <p>④ 気づいたことをノートに書き発表する。</p> <p><b>【まとめ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りをする。</li> <li>次時の見通しをもつ。</li> </ul> <p>(児童の画面)</p> </ul>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>他との考え方の違いに気づくために、おもしろいと思った視点を3つに絞った。また、根拠を明確にするために教科書の本文を撮る活動を取り入れた。</li> <li>タブレットを用いた活動に慣れるために、同様な物語文の言語活動でも似たような活動を取り入れた。</li> <li>児童同士のカードの送信による時間が要するため、前時までに送っておくことに留意した。</li> </ul>		

学校名	浦城小学校	授業者	銘苅 朋夏		
対象学年	第1学年	教科等	図工		
単元名	すきまちゃんのすきなすきま				
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad ( ) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 实物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
本時のめあて	身近な材料を使って隙間という場所の面白さを味わうこと で、日常の生活空間への関心をもつことができる。				
ICT機器の 活用場面	作った「すきまちゃん」を隠し、お気に入りの隙間をお互いに見せ合って面白さや楽しさを味わう場面。				
指導の流れ	1. 教室に隠されたすきまちゃんを探しながら、「隙間」が どんなものなのか知り、活動の見通しを持つ。 2. すきまちゃんを作る。 3. 見つけた隙間に、すきまちゃんを隠す。 (隠した場所を <u>ipad</u> で写真に撮る。) 4. <u>ipad</u> で撮影した写真をミラーリングで電子黒板に うつし、全体で見合い、面白さや楽しさを味わう。				
	 				
指導上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ipad の使用経験が少ないため、使用する際の約束を丁寧に確認する。(持ち方・使い方等)</li> <li>・全児童の作品が電子黒板に映るようにする。</li> </ul>				

学校名	内間小学校	指導者	玉城 佑		
対象学年	4年	教科等	算数科		
単元名	「面積」				
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad (ロイロノート) <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 实物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）				
本時のめあて	「くつのような形の面積をくふうして求めよう。」				
ICT機器の活用場面	○授業の展開時において iPad (ロイロノート) で L 字型の面積に線を引かせ、思考の整理に活用する。グループ学習で確認や意見交換にも活用。				
指導の流れ	<p>★ 「既習事項の長方形・正方形の公式を活用して、複合図形について自由に線を引いたりして面積を求める。」</p> <p>1. 事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ロイロノートの使い方の確認           <ul style="list-style-type: none"> <li>●送受信の仕方</li> <li>●書き込む方法（線の色、式・言葉の入れ方）</li> <li>●iPad 活用ルール及び学び合いタイムの説明</li> </ul> </li> <p>2. 算数の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) L字型の面積を自力解決する。 分けたし：ピンク（縦）緑（横） あるとみてひく：黄</li> <li>(2) 電子黒板を使って自力解決での全体の解き方の割合を見る。 あるとみて（黄）→1人しか解けていない。 黄色の解き方をグループで考える。 (式だけを提示。どこに線を書き込めばいいか考える)</li> <li>(3) 友達同士で解くための意見交換の時間「学び合いタイム」を設定する。</li> <li>(4) 学び合いタイムをして全体の場で説明を含めた発表。（電子黒板を活用）</li> <li>(5) 振り返り。（ロイロノートで写真を撮って提出箱に提出）</li> </ul> </ul>				
	  	  			
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グループ編成（実態に応じて、グループ編成し、学び合いの場を効果的に活用する。）</li> <li>●iPad の活用時の約束を確認。</li> </ul>				

## R2 ICT活用実践事例

沖縄県浦添市

学校名	浦添市立港川小学校	指導者	我那霸 一也
対象学年	3学年	教科等	算数
単元名	三角形		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad ( ) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 实物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
本時のめあて	色で分けた三角形について考えよう。		
ICT機器の活用場面	ロイロノートを使用し、三角形の写真を比較分類する場面で活用した。		
指導の流れ	<p>①ロイロノートで、児童の撮ってきた三角形の写真を確認する。</p>  <p>②正三角形、二等辺三角形の定義を確認する。</p>  <p>③みんなの撮ってきた写真を「二等辺三角形」「正三角形」「三角形」に分類する。</p> 		
指導上の留意点	日常的に各教科でも、タブレットやロイロノートの使用に慣れさせておく。		

## R2 ICT活用実践事例

沖縄県浦添市

学校名	浦添市立港川小学校	指導者	嘉瀬 綾子
対象学年	2学年	教科等	算数
単元名	三角形と四角形		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad ( ) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 实物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
本時のめあて	三角形と四角形の道案内地図を作ろう		
ICT機器の活用場面	ロイロノートを使用し、自分や友達の考えの確認や意見交換をする場面で活用した。		
指導の流れ	①図形の名前を確認する。 ②キャンディーチャートの用紙を使い図形を分別する。 • 自分の考えをロイロノートを使い提出 • 考えを画面で共有 ③三角形と四角形の道案内地図を作る。		
 			
指導上の留意点	日常的に各教科でも、タブレットやロイロノートの使用に慣れさせておく。		

## R2 ICT活用実践事例

沖縄県浦添市

学校名	浦添市立宮城小学校	授業者	野村 亮
対象学年	第3学年	教科等	特別活動
単元名	パワーいっぱい！朝ごはん		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad（ロイロノート） <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 实物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
本時のめあて	朝ごはんの大切さについて考えよう		
ICT機器の活用場面	<input type="radio"/> 電子黒板にてアンケートの結果を共有 <input type="radio"/> 副読本（くわっち～さびら）の資料を電子黒板にて掲示。 <input type="radio"/> 事前にロイロノートの提出箱を活用して、収集しておいた様々な家庭の朝ご飯の写真を電子黒板で共有。		
指導の流れ	<p>つかむ：アンケート結果の共有</p> <p>○アンケートの結果から朝ごはんの良さについて知る。（電子黒板）</p> <p>○朝ごはんを食べている日と、食べていない日の違いや生活を振り返る。</p> <p>○食べたとき、食べなかつたときの良い点、悪い点について考える。</p> <p>さぐる：朝ごはんは何のために食べる？</p> <p>○3つのスイッチを知ろう。（電子黒板）</p> <p>○スイッチが入ると？</p> <p>○実際の各家庭の朝ごはんの写真をロイロノートを活用して提示する。</p> <p>見つける：バランスの良い朝ごはんを食べるためには？</p> <p>決める：自分ができることを決めよう。</p> <p>○バランスのよい朝ごはんになるためにこれからどのように行動するかを意思決定する。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 250px;">       みんなで朝ごはんの写真を見ながら、3つのスイッチが入る食品を探しました。     </div>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>各家庭から収集した朝ごはん等の情報には個人の特定ができないように匿名性を持たせる。</li> </ul>		

## R2 ICT活用実践事例

沖縄県浦添市

学校名	宮城小学校		授業者	玉那覇奈未子
対象学年	2年		教科等	生活科
単元名	秋のくらし			
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad（ロイロノート） <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 实物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）			
本時のめあて	「身近な秋を見つけよう」			
ICT機器の活用場面	ロイロノートのクラゲチャートを使って、秋の行事、秋の食べ物①、食べ物②、秋の生き物、秋の植物を記入し発表する。（1時間）			
指導の流れ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身近な秋を見つけよう。 秋の行事・・・十五夜、お月見、ハロウィン、うんどう会 秋の食べ物・・・ 秋の植物・・・ 子どもたちの発言から広げていく。</li> <li>2. ロイロノートでのまとめ方を確認する。 手書きで記入したり、絵を書いてまとめる。 ※発表しやすいように、ページを矢印でつないでおくことに注意する。</li> <li>3. まとめたものを発表する。 話し方に気をつけて、まとめたものを発表する。</li> </ol> 			
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートの使い方がうまくない児童への配慮</li> <li>・グループで声かけをし、互いに教え合う</li> <li>・提出箱を電子黒板で見られるようにし、良いものは真似できるようにする。</li> <li>・授業参観時だったので、保護者にも声かけをしてもらった。</li> </ul>			

## R2 ICT活用実践事例

沖縄県浦添市

学校名	宮城小学校	指導者	玉那覇奈未子
対象学年	2年	教科等	生活科
単元名	つたわる広がるわたしの生活		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad ( ) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 实物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
本時のめあて	「ロイロノートでまちのみりょくをつたえよう」		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちたんけんの事後指導として、ロイロノートを使って自分たちのまちの魅力をまとめて発表する。</li> <li>まちの良い所、素敵な場所、すごい所、おすすめ、自慢できる所をまとめれる。</li> </ul>		
指導の流れ	<ol style="list-style-type: none"> <li>まちの魅力を伝えるために、たんけんマップをもとにどんな場所があったか、振り返る。</li> <li>まちの良い所、すてきな所、すごい所、オススメの場所、自慢できる所をまとめる。</li> <li>ロイロノートの使い方を確認する。 発表する時に発表しやすいように矢印でページをつなげる。 提出箱を電子黒板に表示し、他の子のシートが見えるようにしておく。</li> <li>まとめたものを発表する。</li> </ol>   		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>見やすいようにシートの上に名前を書いた。</li> </ul>		

## R2 ICT活用実践事例

沖縄県浦添市

学校名	仲西中学校	指導者	町田 宗太
対象学年	3学年	教科等	数学
単元名	三平方の定理		
ICT環境	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad（Zoom） <input checked="" type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 实物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
本時のめあて	「P + Q = R」から三平方の定理を見つけ、それを説明することができる。		
ICT機器の活用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入で、ピタゴラスの発見で見つけられる四角形をタッチペンでなぞらせる。</li> <li>展開で、みつけた定理を説明する際にAppleTVを活用し、ノートの説明を写真にとり、電子黒板に表示する。</li> </ul>		
指導の流れ	<p>(0) 事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Zoomで参加する生徒のために、2台iPad（黒板写す用、電子黒板写す用）を用意し、接続の用意をし、接続を確認する。</li> </ul> <p>(1) 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ピタゴラスの発見をさぐる際、生徒1名を指名し、電子黒板に表示したデジタル教科書で、四角形と三角形をタッチペンで書いてもらう。</li> <li>その例を参考に、各自、教科書で取り組ませ、ピタゴラスの発見に出会わせる。</li> </ul> <p>(2) めあての設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表をまとめ、面積の関係「P + Q = R」に気付かせ、この等式から、本単元の三平方の定理につなげていく。</li> </ul> <p>(3) 展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形や式を用いて「P + Q = R」から「<math>a^2+b^2=c^2</math>」への導き方を、教科書の例を参考に自分の理解できる説明を考えさせる。</li> <li>全体共有に向けて、黒板にかけそうな生徒は、黒板にかいてもらい、ノートでまとめたものを利用する場合は、写真を撮っておく。</li> <li>全体共有では、黒板にかいたものの説明やノート写真での説明、みんなの前で発表できなくても、ノート写真を活用して、多様な見方や考え方をしている生徒に焦点を当てる。</li> </ul> <p>(4) まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時のまとめをし、評価問題に取り組ませる。その際、AppleTVを活用し、回答の共有を行う。</li> </ul>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>Zoomの接続を5分前に済ませておく。iPadは、2台用意し、1台は黒板を、もう一台は電子黒板を写す。電子黒板を写すiPadの方は、ミュートにしておく。</li> <li>発表できるように、普段から、同じような流れの授業を実践しておく。</li> </ul>		

学校名	神森中学校	指導者	吉見 綾乃		
対象学年	小5～中3	教科等	特別活動		
単元名	学級や学校の問題を話し合おう				
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad ( ) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
本時のめあて	よりよい学級に向けて、みんなが授業に参加し、授業態度を改善できる座席を決める。				
ICT機器の活用場面	① 座席アプリで座席の案を作り、その座席案をもとに学級のリーダーたちで検討する。				
指導の流れ	1 座席アプリで生徒名や座席数、配置を設定する。 ※ 使用したアプリは、配慮が必要な生徒は、指定座席を設定できる。 このとき、生徒側から誰が指定座席になっているかはわからない。 指定座席は縦列や横列での指定や、特定の座席の指定をもできる。  2 生徒にボタンを押してもらい、ランダムで座席を設定する。 ※ 座席を決める時にはランダムで一人ずつ確定するか、一気に確定するか選べる。  3 ランダムで出力した座席表の画像をもとに、支持的風土を醸成しやすい座席を、学級のリーダーと話し合う。 ※ メモアプリで直接名前を書き替えていくか、2で印刷した座席をもとに書き込む。				
指導上の留意点	個人的な好き嫌いではなく、学級全体を考えるとどの席がよいのかを考えて話し合わせる。事前に、座席の要望があれば担任に伝えるように学級全体に伝えておく。座席は教師とリーダーで話しあって決め、一人ひとりのことを考えて決めるが、完璧な座席はなかなか作れないことを伝える。				

学校名	神森中学校	指導者	吉見 綾乃		
対象学年	小5～中3	教科等	総合の時間		
単元名	将来の職業を考えよう				
ICT環境	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> iPad ( ) <input type="checkbox"/> AppleTV <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> デジタルコンテンツ ( ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (パソコン)				
本時のめあて	AIが出した適職をもとに、自分にあった職業について考える。				
ICT機器の活用場面	個々の生徒の考え方や指向性をもとに、AIに適職を出させる。				
指導の流れ	① 適職診断をもとに、それぞれの端末で自分の適職を調べる。 <a href="https://school.js88.com/scl_h/job-diagnosis/">https://school.js88.com/scl_h/job-diagnosis/</a> 上記サイトは、小5・6/中1年用、中2・3年用がある)  ② 紹介された職業や、その他に気になる職業があれば、お仕事図鑑で調べ、職業ワークシートにまとめる。 <a href="https://school.js88.com/catalog/job-zukan-e">https://school.js88.com/catalog/job-zukan-e</a> 上記サイトは、おしごと図鑑 115 小5・6/中1用,お仕事図鑑 250 中2・3用がある。  ③ 今の自分にあった職業を1つ選び、発表する。友達の発表を聞きながら、気になる職業を探す。				
指導上の留意点	職業適性の診断結果は絶対ではないことを伝え、今の自分がなりたい職業があれば、そちらを優先にまとめるように伝える。				

これまでの研修で最も印象に残っていることを2~3つ程度挙げてください。	ご自身がエバンジェリストとして特に努力したこと、意識したことを挙げてください。	エバンジェリストに必要な資質・能力とは?	エバンジェリストとして困ったこと、難しかったこと、要望など。	これからエバンジェリストにアドバイスをお願いします。
ロイロノートの活用	ICTを積極的に活用する	ICTを活用する力	特に無し	積極的にいろんな方法でICTを使っていきましょう
ロイロノート活用法と紹介 GIGAスクール	積極的に授業に取り入れること(児童と活用していくこと)	意識的に使って、広め、共有すること	広めたり、共有したりすることが大変でした。	いろいろ活用できることを増やして教えてほしい。
他の先生の実践事例	ロイロノートのIDの用意や活用方法を知らせること	ICT機器やソフトの活用スキル	あまりスキルがないので先生方と一緒にになって困ってしまう場面がおおかたしたこと	学校にあるソフトもないソフトも自分で触ってみることが必要だと思いました
zoomでの研修(活用に慣れることができた)	日常的な実践(eライブラリ、ロイロノート)	ICT活用能力、伝達力	ロイロノートの効果的な活用	求められる役割は今年度以上に大きいですが、小さな実践が大きな糧になると思いますので、頑張っていきましょう。
GIGAスクール構想の講和実践事例 ICTの使い方で不登校児童へのZOOMを使ったライブ授業の実践	Ipadを使った授業実践	ICTを活用する技能・アイディア力・伝達力	特別支援担当ということもあり、通常授業・一斉授業の取り組みができなかった。	実際にICTを使って授業実践や業務処理をしてほしい。 授業作りだけでなく、業務改善にも使えると思う。
実際の実践例や機器に触れる活動的な研修が心に残っています	とにかく積極的に使うようにしました	積極性、失敗を恐れない度胸!	良い取り組みでした!	兎に角使う!初めはみんな素人です!
・公開授業に向けた話し合い・GIGAスクール構想について	・授業の中で積極的にICTを使うように心がけた	・教師の中でも常に最新の情報を手に入れようとする態度	日々の業務と平行して研究するための時間の確保	毎回の研修で自分のスキルアップにつながっていることが実感できるので、ぜひ楽しみながら受講してください。
GIGAスクールについて、エバンジェリスト同士でのワークショップ	研修会で得たICT機器の活用方法を共有すること	発信力(巻き込む力)、積極性	公開授業への参加。日々の授業があるため、なかなか参加できない。	参加すると学びが多くある研修会が開かれています。ここで得た学びを現場で積極的に活用することが今後の教育の形を作っていくと思います。頑張ってください。
ロイロノートを使った課題提出をさせている学校がある、ICTで遊ばない生徒を育成する必要がある、不登校生徒にzoomで授業している学校がある	授業で極力電子黒板を使う、power pointの共有化	新しいものへの興味・関心、スピーカー力	ロイロノートを思うように使えなかった(ipodの移動や予約が大変)	率先して動くこと
・ロイロノートでのシンキングチャートの紹介 ・GIGAスクール構想と導入について ・コロナ禍におけるエバンジェリストの役割について	・zoomを活用した遠隔授業システムの構築 ・ロイロノートの積極的活用 ・機器トラブルへの対応	・「まずは、やってみよう」の精神 ・「機械の素人」の目線に立って考える能力	・原因がよくわからない機器のトラブル ・機器の設定に必要な児童名簿の作成などの作業	・今後もエバンジェリストは重要な役割を担うので、積極的に活動してください。
①ロイロノートを活用した、他校の実践例を聞くことができたのでよかったです。 ②ICT機器を使った、不登校児童への授業支援をしていくことがわかりました。	公開授業するにあたって、自らICT機器を活用し公開授業に望んだ。	自ら積極的にICT機器に触れることから始める。	児童の不慣れなICT機器活用のために、十分な時間がとれない。	一人でも多くの児童が、ICT機器を活用できるように教師自身がICT機器に触れるような声かけをお願いします。
授業実践の共有 GIGAスクールの説明会	授業公開 機器の使い方の共有	機器の使い分け 伝達するアプリの種類の把握	機器の未整備校のため、授業の計画が難しかったのと、児童も機器を使う能力が無かったため定着させるのに時間を要した。	積極的に授業を公開し、多くの教科で実践を積み上げていくことが周りの先生へのヒントとなるので頑張ってください。
ロイロノートを活用して「フィッシュボーン」	授業でのタブレットの活用・研修内容の伝達	伝達力	タブレット機器の操作を教えたこと。 新しいものを使う、取り入れる、意識していくこと。	ICT機器・タブレット端末を活用することで、授業力アップにつながると思います。